

観光社会資本の事例

テーマ	こんやまち 紺屋町シンボルロード
<p>【施設の状況写真】</p>  <p>あわあい 路面舗装は、阿波藍で染める「しじら織り」のイメージを活かし、照明灯には「阿波踊り」のイメージをデザインしています。</p>	
<p>【施設の利用写真】</p>  <p>こんやまちえんぶじょう 「阿波踊り」のメイン会場「紺屋町演舞場」として利用されています。</p>	
<p>【観光資源としての利用状況】</p> <p>夏のお盆中(4日間)に実施される徳島最大の観光資源である、「阿波踊り」の舞台として、多くの観光客に親しまれています。</p>	

テーマ	こんやまち 紺屋町シンボルロード
【社会資本の基礎データ】 名称 一般県道宮倉徳島線 所在地 徳島県徳島市紺屋町 事業名 シンボルロード整備事業 事業主体 徳島市 事業期間 昭和59年 ~ 昭和60年	
【社会資本の役割・効果】 街路整備による都市環境の向上 従来、中心市街地であることから路上駐車が多く、道路幅員が有効に利用されていませんでしたが、関連する地下駐車場の整備に伴い、幅員の再配分(車道の一部を歩道にする等)を行うことにより、魅力ある街路・広場として中心市街地にふさわしい環境空間を創出しました。	
【位置図】  <p>とくしま JR徳島駅</p> <p>とくしま 徳島市役所</p> <p>とくしま 紺屋町 シンボル ロード</p> <p>当該箇所</p> <p>徳島県</p>	
【関連ホームページ】 徳島市観光協会 http://www.awadori-kaikan.jp/kankou/	